

平成30年度 第1回伊賀市民美術展覧会運営委員会概要

■日 時／ 平成30年6月25日（月）午後6時～

■場 所／ 伊賀市文化会館 多目的室

■出席者／ **委員**

[絵画部門] 上田保隆委員、小阪のり子委員

[彫塑工芸部門] 新佳三委員、辻中静夫委員

[写真部門] 城島正子委員、田中文夫委員

[書部門] 岡井房子委員 菅生撰堂委員

事務局

[伊賀市文化交流課] 文化交流課長 滝川、主幹 林

[(公財)文化都市協会] 服部参与、吉川課長、百南主査

1 あいさつ

2 委員紹介

3 委員長、副委員長の選出

協議により以下のとおり決定

委員長：新佳三さん（彫塑工芸）

副委員長：小阪のり子さん（絵画）

4 協議事項

(1) 募集要項について

【日程】

○搬入～会期について

(委員) 搬入から会期までの間が長い。

(文化都市協会) カラー目録で入賞作品をすべて掲載しているため、撮影、校正に時間がかかる。この目録を作製することを前提とすると、この程度の余裕が必要だ。

○報道発表～会期について

(委員) 新聞発表から、会期までの期間が長くあり、行きたいと思った人が会期を忘れてしまうのではないか。

(委員) 発表翌日から5日程度なので、それほど長いとも感じない。

(委員) 間があっても、2回載せてくれている新聞もあった。

(委員) 会期の間にも取材に来てほしい。

(文化都市協会) 結果を発表し、掲載があったのち、開催直前にも観覧を促す記事を掲載してもらうよう依頼する。

→日程について承認

○3月運営委員会日程

(決めておく方がよいとの指摘を受け) 3月27日(水)午後6時からに決定

(文化都市協会) 3月の運営委員会は反省会となるが、準備のための委員会が1回では少ない。文化都市協会の主催でもう1回運営委員会を開催してもよいか。

→了承 (時期は未定)

【出品者数について】

(委員) 会場を変更する、ポスターを4種類作るなど、主催者のがんばりはあるものの、出品者数は増えていない。ポスターに力を入れることも必要だが、出品者を増やすことも考えなくてはいけない。

(委員) 高校を回って先生にも(彫塑工芸部門についての)お願いをし、そのときは分かったと言ってくれていたが、実際の応募には繋がらなかった。学生のための賞を作るとか、そのときに応じて絵の具をプレゼントするなど、なにかプラスアルファがあれば違うかもしれない。

【出品規定について】

絵画、彫塑工芸、写真については、出品規定修正なし。

書のみ修正あり。後日、運営委員から紙に書いて提出。

(2) 審査・展示について

【賞の数、順序について】

(委員) 奨励賞については、数の問題ではなく奨励したい作品かどうかを審査員が決めるべきだ。

(委員) 数を決定するのは審査員の権限ではないか。

(委員) 審査は機械的に順位を決めるもの。芸術的だとか、感動を与えとかで、作品を選ぶのは不可能だ。

(委員) 奨励賞とせずに、審査員が決める「なんとかで賞」などおもしろい賞にしては。若い人が出してくれるようにしたらいいと思う。

(委員) 賞が多すぎるとの意見もあるが、多い方がはげみになる。

(委員) 出品点数によって事務局で決定しては。

(委員) 出品数ではなく、入賞作品数で決めるべきではないか。

(委員) 会場のキャパがあるなら公募展ではすべてを入选とすべきもの。出品数でよいだろう。

(委員) 会場のキャパで減らすのは仕方がない。

上のような議論の結果、

→出品数が25点以下の場合奨励賞は最大2点

出品数が26点以上の場合奨励賞は最大3点 とする。

【審査会場について】

(文化都市協会) 審査スペースが狭いという指摘を受け、書と写真については、審査会場を多目的室とし、審査日の午前と午後という形で時間を分けることによって、広いスペースを確保したい。

→午前に書(午前9時30分から打合せ、10時から審査)、午後に写真(これまでどおり)とする。

【いこかについて】

(委員) 亀山や甲賀とのかかわりはどうなるか。

(文化交流課) 今年度も継続して行う予定。亀山が2月上旬、甲賀が3月上旬開催なので、年度内できうと伊賀が最終となる。展示方法については、これまでどおり部門ごとにする、4部門まとめて行うかなどの方法があるかと思う。

(3) 目録・チラシ・ポスターについて

【ポスターについて】

(委員) 4枚は多すぎる。貼ってもらうよう依頼しても、最初はいい顔をしてくれるが、3枚目4枚目となるといやな顔をされていた。

(委員) 縦長になったり横長になったりすると、掲示板のスペースがもらえないことがある。横長だと張りにくいといわれることも合った。

(委員) (1枚だけで長い期間張ると) 色あせてぼろぼろになる。2枚程度でよいのではないか。

→2回程度ポスターを制作する。デザイン等は文都へ一任

【チラシ】

(文化都市協会) 昨年度はコンサートの告知もしたいという思いがあり、チラシを制作した。今年度は市展を見に来ていただくためのチラシを考えている。

→チラシについては文都へ一任

5. その他

【次回について】

○会期のあとの振り返りのための運営委員会 3月27日(水)

○市主催の運営委員会2回(年)の間に、文都主催の運営委員の会議を開催する。(時期未定)

終了